

教職員の皆様へ

令和5年度「電子メディアとの付き合い方学習ノート（シート）」の活用について

先生方へお願い

この「電子メディアとの付き合い方学習ノート(シート)」(以下「ノート」という。)は、電子メディア機器(テレビ、スマートフォン、パソコン、ゲーム機、音楽プレーヤー等)との上手な付き合い方を学校や家庭で学習できるようにつくりました。このノートを利用して、児童・生徒自身が電子メディア機器の使い方を振り返ったり、使い方について家の人と話し合っ規則を決めたりできるようになっています。

また、ノートには家族で話し合う際の参考にしていただくため「保護者のみなさんへ」のページもあります。シートについては、家族に限らず友だちと話し合うこともできるようにしています。裏面の活用例を参考にいただき、学級活動のほか、保護者への啓発など幅広く御活用ください。

【ノート（シート）の種類と対象学年】

学習ノートA：小学校1～3年生、学習ノートB：小学校4～6年生、学習シートC：中学生・高校生

活用例

※活用例ですので、それぞれの学校の実態に合わせて有効に御活用ください。

学校で…

家庭学習の課題として記入

ショートホームルーム(朝の会、帰りの会など)で記入

学級活動・道徳・総合的な学習の時間等で「情報活用能力」の育成のための学習活動で活用

- ・情報があることを知り適切に扱おうとする態度
- ・個人情報や著作権などの配慮が必要なことを理解する
- ・電子メールや SNS 等の特色を理解し、適切に利用しようとする態度
- ・誤認性や危険性を理解した上で適切に利用しようとする態度
- ・多角的に検討しようとする態度

家庭で…

電子メディアとの付き合い方やルールを家庭で話し合い、話し合ったことを記入

学校で回収

家庭への啓発

家庭(学校)での話し合いの様子を

- ・学年・学級通信で紹介
- ・参観日後の学年・学級懇談で活用していただくと、なお効果が期待できます。

子どもたちを取り巻く状況

近年スマートフォン、ゲーム機等電子メディア機器が子どもたちの生活に浸透し、長時間利用による生活習慣の乱れが指摘されています。

さらに、GIGA スクール構想により、県内全ての小学校・中学校・義務教育学校においてタブレット端末等を活用した学習が行われています。ここ数年間の感染症対策の影響によって、子どもたちが家庭で過ごす時間が長くなり、家庭におけるテレビ・ゲーム・スマートフォン等の利用機会が増加しています。

令和元年度に鳥取県教育委員会が実施した「インターネットの利用に関するアンケート」調査の結果では、利用の低年齢化が進んでいること、利用によりトラブルを抱えている子どもたちがいること、インターネット上の知り合いがいる割合が増加していること、インターネットの病的な利用が疑われる子どもたちが一定数いることがわかっています。

「令和元年度インターネットの利用に関するアンケート」調査結果より

電子メディア機器(※)でインターネットを利用している割合 ※スマートフォン、携帯ゲーム機、携帯音楽プレーヤー等
○小学生(6年生) 88.1% ○中学生(2年生) 89.3% ○高校生(2年生) 95.4%

インターネットを利用して困ったことや嫌なこと

○小学生(6年生)、中学生(2年生)、高校生(2年生)とも、上位3つは以下のとおり
・使いすぎて睡眠不足になった ・知らない人からの連絡がきた ・人間関係のトラブルがあった

インターネット上の知り合いがいると回答した割合

○小学生(6年生) 37.6% (うち5.1%は100人以上知り合いがいると回答)
○中学生(2年生) 36.9% (うち3.7%は100人以上知り合いがいると回答)
○高校生(2年生) 51.4% (うち5.3%は100人以上知り合いがいると回答)

インターネットの病的な使用が疑われる割合

○小学生(6年生) 4.3% ○中学生(2年生) 5.9% ○高校生(2年生) 10.5%

また、家庭でのルールの有無について保護者と児童・生徒の認識に差があることも分かりました。

「家庭で何らかのルールがある」と回答した児童・生徒と保護者の割合の比較

○小学生(6年生)		○中学生(2年生)		○高校生(2年生)	
児童	保護者	生徒	保護者	生徒	保護者
83.2%	94.6%	70.9%	91.2%	36.2%	77.4%
11.4ポイントの差		20.3ポイントの差		41.2ポイントの差	

※参考「令和元年度インターネットの利用に関するアンケート」

URL: <https://www.pref.tottori.lg.jp/290488.htm>

